



上
口
マ
ダ
メ

八
百
万
百
百

拘束凌辱及騎乗位☆

くうっ!
男のクセに大勢何て:
卑怯ですわよ!!

アナタ達はあの時の!
(過去に私を散々輪した後に
連絡先を置いて行った奴ら...)

へへ!
モモちゃん
ご無沙汰じゃない??

寂しかったぜえ☆

相変わらず
凄い体してるねえ♡

止めなさい、
2度目は
ありませんわよ!!

ヒヒヒ!

くっ

くっ

くっ

くっ



あうう！
嫌あ♡
気持ち悪い！

へへ！ローションで
べちよべちよにして間から：
うほ☆凄いきつきつじゃん♡

何時でも着コキして
もらえる様に
きつきつにしたのかい？

前よりもコスが：
小さくなってるよね

違いますわ！
このペンタイ！！

(うう、言えない!!自分から
連絡何て出来ないから
コスチュームを小さめにしして、
そっちから来るのを
待ってたなんて!)

モモちゃん♡
ホントの事言ってみ
(自白個性)

あ・ああ
そうです：皆さんにまた襲って
ほしくて：さり気なくコスを
小さめに改造して、
ハイレグもきつきつにして
誘ってました♡♡

嫌！
違いますわ!!

にゅぽ
にゅぽ

あふあふ
あふあふ
あふあふ
あふあふ

お：お願いします。
また以前みたいに私の体を
好き放題お使いになつて
全身を精液でべちょべちょに
してください♡♡

皆さんわたくしの、
育ち過ぎたデカ乳と
見え隠れする：は、
ハイレグに
興奮してたんでしょ？

そこで見てる方達も、
私の：す、好きな所に
お射精して良いのですわよ♡
(嫌ああ！敵の個性が！
自分を止められませんわ！)

え???
キミそんな事
考えてたの?
(自白個性主)

なるほど、
確かに優等生だわww

ホラ!
もっとキツキツに
股を締め付けて
あげますわよ♡♡

くおおお!

おお!

にゅぽ

にゅぽ

ああああ！
精子がある♡♡
顔と胸ばかり
狙われてるうう！！♡

おほおおおお！

こっちもだ！
口開ける

おほおお♡♡♡
おっ♡おおん♡♡♡

ヒヒヒッ！
前に調教された癖が
残ってやがるなww
更に感度強化！

飲め！

おんおんおん！！

にゅぽ

にゅぽ♡

あああああ！ダメ！
感じ過ぎるウウ！！
お願いです！

出した後はスグに
入れないでえええ！！

男達は私のオマンコを交代交代で使い続けた。
精神的に絶頂させられた。
強制的に

出した後、男達は休みなく交代交代でオマンコを
使い清しに来た。
私は休む事無く、快感を味あわせられ続けた…♡



あああああ
まだイグロウラ!

ぶっかけと甲出しで
イグロウラ!

コスチュームをポロポロに割かれ
散々、動画や写真を撮られ続けた。

私は自分が拘束されめちゃくちゃに
輪姦されているのに：それを撮られて
いるのが余計に興奮して
イキっぱなしになってしまった：





その1時間後

こ：これで
良いのですの？

ああ、
凄い眺めだ☆

解ってるって☆
オマエ等を本気で
怒らす気は無い。

ああ。

モモちゃんと
やれない方が困るよ

そうだね

フン！
低俗な連中
ですこと！！

良いですよ！
ちゃんと相手してあげますから、
あのデータは1枚も流出
させないで下さい！
もし流出させたら：

アッ

アッ

アッ

次は貴方ですの？
さつきはよくも
顔射しまくって
くれましたわね！

さあ、とつとつと
果ててしまいなさい！！

私のオマンコで
あなたを射精を
あげますわよ！

ごめつ
ごめつ
ごめつ

そこは：
卑怯ですわ♡♡

ふふ！

ヴィラン
だからなあw

おほっ♡♡
そこは！

んほおおおお

イヤイヤイヤ！！
嫌ああ！
また負けちゃうウ！！

90

90

私は今度こそペースを握ろうと攻めに
転じたが：ヴィランは大勢居た。
多勢に無勢、全員の個性を一人で
受け続け、私は大量のオチンポで
滅茶苦茶にされて行った。

頭脳派で戦う私の長所は、
快楽清けにされ完全に殺されてしまった。
そして：



この野太いイキ声が
聞きたかったのよ☆

おおおおお
おおおおお
おおおおお
♡♡♡!!

はは!
これこれ☆

あぎッ♡♡
アへえ!!
いぐらああ!

んほお...♡
イグウ!
まだいぐらウ!!

もう...堪忍してえ♡
オチンポ入れない:

オッ♡
んほっ♡
♡

一番奥まで:ひい!
子宮焼けるウ!
ザーメン出てるウウ!

嫌!
声が:

おほ♡

アッ♡

アッ♡

おほおおお
おおおおお
♡♡♡!!

負ける!!
チンポに負け:
ひい!!♡

アッ♡

アッ♡

ひいーるっ♡♡♡

嫌…気持ち良かった何て…
こんな事思っちゃダメ！
こんな感情…許されないわ！

最後のオホ声
良かったよ♡♡
モモちゃん♡

またその内に
声かけるからね☆

私はこの上ない快感と満足感を味わった自分を
絶対に認めたくなかった。本音と、あるべき自分
その歪みが私を歪ませた。
普通ではもう満足出来ない、受け入れられない
処理不能な感情が、私を更に奈落へと墮として
行くのだった。















































